

(参考)

## 病害虫の発生状況等(2022年4月)

作物名 (作付面積)	病害虫名	調査地点数	調査項目	発生概評	備考
麦類 (1810ha)	うどんこ病	71	発病葉率	並	-
	黒節病	71	発病莖率	並	-
	アブラムシ類	71	寄生莖率	やや多	
	赤かび病	71	発病穂率	少	-
	赤かび病	71	発病圃場率	少	-
	黒穂病類	71	発病穂率	やや多	
	黒穂病類	71	発病圃場率	やや多	
かんきつ (11,680ha)	ミカンハダニ	31	寄生葉率	並	
	ミカンハダニ	31	雌成虫数/葉	並	
	アブラムシ類	31	寄生新梢数	やや多	
かき (595ha)	フジコナカイガラムシ	9	寄生結果母枝数	並	
冬春トマト (34ha)	疫病	6	発病葉率	並	-
	灰色かび病	6	発病度	多	1圃場発生
	葉かび病	6	発病株率	やや多	1圃場発生
	すすかび病	6	発病株率	並	-
	うどんこ病	6	発病株率	やや少	-
	アブラムシ類	6	寄生株率	並	-
	オンシツコナジラミ	6	寄生株率	やや少	-
	タバココナジラミ	6	寄生株率	並	
	ハモグリバエ類	6	被害株率	並	
	タバコガ類	6	寄生果率	並	-
冬春きゅうり (34ha)	【促成】				
	べと病	3	発病葉率	多	3圃場発生
	うどんこ病	3	発病葉率	少	-
	褐斑病	3	発病葉率	並	-
	炭そ病	3	発病葉率	並	-
	つる枯病	3	発病株率	多	1圃場発生
	灰色かび病	3	発病果率	並	-
	疫病	3	発病株率	並	-
	黄化えそ病	3	発病株率	並	-
	モザイク病	3	発病株率	並	-
	アブラムシ類	3	寄生虫数/葉	やや多	1圃場発生
	ミナキイロアザミウマ	3	寄生虫数/葉	やや多	2圃場発生
	オンシツコナジラミ	3	寄生株率	並	-
	タバココナジラミ	3	寄生株率	並	-
	【半促成】				
	べと病	5	発病葉率	やや多	1圃場発生
	うどんこ病	5	発病葉率	やや少	-
	褐斑病	5	発病葉率	並	
	炭そ病	5	発病葉率	並	-
	つる枯病	5	発病株率	並	-
	灰色かび病	5	発病果率	並	-
	疫病	5	発病株率	並	-
	黄化えそ病	5	発病株率	並	-
	モザイク病	5	発病株率	並	-
	アブラムシ類	5	寄生虫数/葉	多	1圃場発生
	ミナキイロアザミウマ	5	寄生虫数/葉	並	-
	オンシツコナジラミ	5	寄生株率	並	-
タバココナジラミ	5	寄生株率	並	-	

作物名 (作付面積)	病虫害名	調査地点数	調査項目	発生概評	備考
冬春いちご (79ha)	うどんこ病	56	発病葉率	やや多	11圃場発生
	うどんこ病	56	発病果率	やや多	10圃場発生
	灰色かび病	56	発病果率	やや少	-
	炭疽病	56	発病株率	並	-
	萎黄病	56	発病株率	多	3圃場発生
	菌核病	56	発病株率	並	-
	ハダニ類	56	寄生株率	やや多	31圃場発生
	アブラムシ類	56	寄生株率	並	-
	ハスモンヨウ	56	寄生株率	並	-
	ハスモンヨウ	56	被害株率	並	-
	チャノホリダニ	56	被害株率	並	-
	オンツツコナジラミ	56	寄生株率	多	22圃場発生
	タバココナジラミ	56	寄生株率	並	-
	アザミウマ類	56	寄生花率	並	-
アザミウマ類	56	寄生虫数/1花	多	31圃場発生	
冬春ナス (10ha)	うどんこ病	5	発病葉率	やや少	-
	すすかび病	5	発病葉率	並	-
	灰色かび病	5	発病果率	やや多	2圃場発生
	アブラムシ類	5	寄生虫数/葉	多	1圃場発生
	ハスモンヨウ	5	寄生幼虫数/100葉	並	-
	ハダニ類	5	食害面積率/葉	並	-
	ハダニ類	5	寄生葉率	並	-
	ミナキイロアザミウマ	5	寄生虫数/葉	やや多	1圃場発生
	オンツツコナジラミ	5	成虫寄生葉率	やや少	-
	タバココナジラミ	5	成虫寄生葉率	やや多	2圃場発生
ハモグリハエ類	5	被害葉率	多	2圃場発生	
春キャベツ (132ha)	黒腐病	4	発病度	並	-
	黒腐病	4	発病株率	並	-
	菌核病	4	発病株率	やや少	-
	べと病	4	発病株率	並	-
	コナガ	4	幼虫・蛹数/10株	やや多	3圃場発生
	モンシロチョウ	4	幼虫数/10株	並	-
	アブラムシ類	4	寄生株率	やや多	2圃場発生
たまねぎ (322ha)	白色疫病	5	発病株率	(少)	-
	べと病	5	発病株率	(並)	-
	ネギアザミウマ	5	虫数/株	(多)	-

1) 発生概評は5段階評価:「多」<2≦「やや多」<4≦「並」≦8<「やや少」≦10<「少」(数値は過去10年間順位)

2) たまねぎの発生概評は過去5年間との比較

3) 備考欄の(-)は調査圃場において発生無